

## 平成20年度 決算説明資料

<b>当期決算の特徴</b>	.....	1
<b>平成20年度通期（平成21年3月期）決算の概要</b>		
1. 預金、貸出金の残高【単体】	.....	2
2. 利鞘【単体】	.....	4
3. 預り資産残高・保険販売実績【単体】	.....	4
4. 損益状況【単体】	.....	5
5. 損益状況【連結】	.....	7
6. 業務純益【単体】	.....	8
7. 国債等債券関係損益【単体】	.....	8
8. 株式関係損益【単体】	.....	8
9. 有価証券・金銭の信託の評価損益【単体】・【連結】	.....	9
10. ROE【単体】	.....	9
11. 自己資本比率（国際統一基準）【単体】・【連結】	.....	10
<b>貸出金等の状況</b>		
1. 貸倒引当金とリスク管理債権の状況【単体】・【連結】	.....	11
2. 金融再生法開示債権の状況【単体】	.....	12
3. 業種別貸出状況等	.....	13
(1) 消費者ローン残高【単体】	.....	13
(2) 中小企業等貸出比率【単体】	.....	13
(3) 業種別貸出金残高【単体】	.....	13
(4) 業種別リスク管理債権残高【単体】	.....	14
4. 国別貸出状況等	.....	14
(1) 特定海外債権残高【単体】	.....	14
(2) アジア向け貸出金【単体】	.....	14
(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】	.....	14
(4) ロシア向け貸出金【単体】	.....	14
<b>自己査定結果と開示基準別の分類・保全状況【単体】</b>	.....	15
<b>平成22年3月期の業績予想</b>	.....	16

## 当期決算の特徴

### 世界的な金融危機の影響により創業以来初の赤字を計上

(詳細は、5～6頁をご覧ください。)

資金利益の減少(前期比 14億円)や役務取引等利益の減少( 10億円)などにより業務粗利益が37億円減少する一方で、機械化投資関連の物件費の増加を中心に経費が14億円増加したことから、一般貸倒引当金繰入前の実質業務純益は52億円の減益となったものの、一般貸倒引当金繰入額が27億円減少し、業務純益は25億円の減益にとどまりました。

しかしながら、百年に一度と言われる金融危機の影響により、保有株式の減損や売却損(合計151億円)の計上を余儀なくされたこと、景気が急速に悪化するなかで厳格な自己査定を実施した結果、昭和8年の当行創業以来初の赤字を計上することとなり、経常損失は188億円(前期比290億円の減益)、当期純損失も166億円(同199億円の減益)となりました。

(億円)

	当期実績	前期実績	前期比較
業務粗利益	5 6 6	6 0 3	3 7
[コア業務粗利益(債券関係損益を除く)]	[ 6 2 9 ]	[ 6 3 4 ]	[ 4 ]
資金利益	5 6 8	5 8 2	1 4
うち貸出金利息	5 2 2	5 1 1	1 1
うち有価証券利息配当金	1 6 4	2 0 6	4 2
うち預金等利息 ( )	1 1 5	1 2 0	5
役務取引等利益	6 5	7 6	1 0
その他業務利益	6 6	5 4	1 2
うち国債等債券償却・償還損〔A〕 ( )	7 7	7 1	6
経費 ( )	4 6 0	4 4 5	1 4
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1 0 6	1 5 8	5 2
[コア実質業務純益(債券関係損益を除く)]	[ 1 6 9 ]	[ 1 8 8 ]	[ 1 9 ]
一般貸倒引当金繰入額〔 〕 ( )	1 7	4 5	2 7
<b>業務純益</b>	<b>8 8</b>	<b>1 1 3</b>	<b>2 5</b>
臨時損益	2 7 7	1 2	2 6 4
うち不良債権処理額〔 〕 ( )	1 1 4	1 1 3	0
うち株式関係損益	1 4 2	1 1 2	2 5 4
うち株式等償却・売却損〔B〕 ( )	1 5 1	7	1 4 4
<b>経常利益(経常損失 )</b>	<b>1 8 8</b>	<b>1 0 1</b>	<b>2 9 0</b>
特別損益	2	7	5
うち減損損失 ( )	1 0	2 0	9
税引前当期純利益(税引前当期純損失 )	1 9 1	9 3	2 8 4
法人税等合計 ( )	2 5	6 0	8 5
<b>当期純利益(当期純損失 )</b>	<b>1 6 6</b>	<b>3 3</b>	<b>1 9 9</b>
与信コスト( + )	1 3 2	1 5 8	2 6
一般貸倒引当金繰入額	1 7	4 5	2 7
不良債権処理額	1 1 4	1 1 3	0
債券・株式減損等( A + B )	2 2 9	7 8	1 5 0
A 国債等債券償却・償還	7 7	7 1	6
B 株式等償却・売却	1 5 1	7	1 4 4

## 平成20年度通期（平成21年3月期）決算の概要

### 1. 預金、貸出金の残高【単体】

当行の「健全経営」が地域から高い評価を受け、当期中の預金等(譲渡性預金を含む)の期中平均残高は、前期比384億円増加(増加率1.04%)し3兆7,230億円となりました。特に、コアとなる個人預金の期中平均残高は2兆8,305億円で前期比970億円増加(増加率3.54%)となりました。

一方、貸出金の期中平均残高は2兆6,130億円で、前期に比べ1,104億円の増加(増加率4.41%)となりました。これは、住宅ローンを中心とした消費者向け貸出の増加(前期比174億円：増加率2.04%)に加え、事業性貸出が1兆5,895億円と前期比584億円の増加(増加率3.81%)となったことが寄与したものであります。

この結果、預貸率は70.18%で、前期比2.27%上昇いたしました。

今後も引き続き、運用力の一層の強化に努め、良質な貸出金の増強に努力してまいります。

(金額単位：百万円)

〔期中平均残高〕	21年3月期	〔比較欄の上段は増減率〕		20年9月期 (第2四半期累計期間)	20年3月期
		20年9月期比較	20年3月期比較		
預金等 (預金+譲渡性預金) (平残)	3,723,087	(0.09%) 3,602	(1.04%) 38,442	3,726,690	3,684,645
うち滋賀県内 (平残)	3,237,450	(0.05%) 1,840	(1.96%) 62,442	3,235,609	3,175,007
預金 (平残)	3,610,273	(0.06%) 2,169	(1.34%) 47,851	3,608,104	3,562,422
うち滋賀県内 (平残)	3,138,174	(0.11%) 3,702	(2.20%) 67,624	3,134,472	3,070,549
うち個人預金 (平残)	2,830,541	(0.43%) 12,303	(3.54%) 97,022	2,818,238	2,733,519
うち法人預金 (平残)	676,304	(0.41%) 2,799	(4.52%) 32,017	679,104	708,322
譲渡性預金 (平残)	112,813	(4.86%) 5,772	(7.69%) 9,409	118,585	122,222
うち滋賀県内 (平残)	99,275	(1.84%) 1,861	(4.96%) 5,182	101,136	104,457
貸出金 (平残)	2,613,003	(1.55%) 39,993	(4.41%) 110,444	2,573,010	2,502,559
うち滋賀県内 (平残)	1,670,585	(0.65%) 10,856	(4.02%) 64,700	1,659,729	1,605,885
うち消費者向け貸出 (平残)	871,288	(0.34%) 3,000	(2.04%) 17,471	868,288	853,816
うち事業性貸出 (平残)	1,589,522	(2.27%) 35,429	(3.81%) 58,449	1,554,092	1,531,072
預貸率 (平残ベース)	70.18%	1.14%	2.27%	69.04%	67.91%

(注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 貸出金のうち滋賀県内の残高は、本部勘定に計上している余資運用の一環として行っている貸出金を除いて記載しております。

(金額単位：百万円)

〔期末残高〕	21年3月末	〔比較欄の上段は増減率〕		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末
		20年9月末比較	20年3月末比較		
預金等 (預金 + 譲渡性預金) (未残)	3,771,066	(1.85%) 68,600	(1.93%) 71,601	3,702,466	3,699,465
うち滋賀県内 (未残)	3,272,132	(1.58%) 51,036	(2.41%) 77,065	3,221,095	3,195,066
預金 (未残)	3,661,191	(1.79%) 64,717	(1.71%) 61,731	3,596,474	3,599,460
うち滋賀県内 (未残)	3,183,906	(1.98%) 61,863	(2.43%) 75,645	3,122,043	3,108,261
うち個人預金 (未残)	2,863,397	(1.54%) 43,564	(2.74%) 76,479	2,819,832	2,786,918
うち法人預金 (未残)	674,707	(0.76%) 5,127	(2.35%) 16,253	669,579	690,961
譲渡性預金 (未残)	109,875	(3.66%) 3,883	(9.86%) 9,870	105,992	100,005
うち滋賀県内 (未残)	88,225	(10.93%) 10,826	(1.63%) 1,420	99,052	86,805
貸出金 (未残)	2,718,311	(5.13%) 132,778	(6.22%) 159,327	2,585,533	2,558,984
うち滋賀県内 (未残)	1,735,299	(4.26%) 71,047	(4.34%) 72,211	1,664,252	1,663,088
うち消費者向け貸出 (未残)	872,794	(0.20%) 1,830	(0.60%) 5,269	874,624	867,524
消費者ローン (未残)	762,782	(0.31%) 2,427	(2.13%) 15,921	760,354	746,860
その他の 消費者向け貸出 (未残)	110,011	(3.72%) 4,257	(8.82%) 10,651	114,269	120,663
うち事業性貸出 (未残)	1,653,447	(5.46%) 85,679	(7.20%) 111,108	1,567,767	1,542,338
預貸率 (未残ベース)	72.08%	2.25%	2.91%	69.83%	69.17%

- (注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 2. 貸出金のうち滋賀県内の残高は、本部勘定に計上している余資運用の一環として行っている貸出金を除いて記載しております。  
 3. 消費者向け貸出のうち、消費者ローンとは、借入の利便性向上のため予め貸出条件等を定めてパッケージ化した商品であり、その他の消費者向け貸出とは、消費者ローン以外の個人向け一般融資(事業性の貸出を除く)であります。

### ご参考 個人預金及び個人の預り資産残高

(金額単位：百万円)

〔期末残高〕	21年3月末	〔比較欄の上段は増減率〕		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末
		20年9月末比較	20年3月末比較		
個人預金 + 個人預り資産残高 (未残)	3,341,047	(0.35%) 11,768	(1.82%) 59,919	3,329,279	3,281,128
個人預金 (未残)	2,863,397	(1.54%) 43,564	(2.74%) 76,479	2,819,832	2,786,918
個人預り資産残高 (未残)	477,650	(6.24%) 31,796	(3.35%) 16,560	509,446	494,210

- (注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 2. 預り資産残高の詳細は4ページに記載しております。

## 2. 利鞘【単体】

当期中の資金運用利回りは前期比0.10%の低下となりました。これは、主として有価証券利回りが0.21%低下したことにあります。

一方、資金調達原価は、預金等利回りの低下(前期比 0.01%)を主因に前期比0.02%の低下となり、その結果、総資金利鞘は前期比0.08%低下し0.23%となりました。

(単位：%)

〔全店ベース〕	21年3月期		20年9月期 (第2四半期累計期間)	20年3月期
	20年9月期比較	20年3月期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	1.79	0.03	1.82	1.89
(イ) 貸出金利回り (B)	1.99	0.03	2.02	2.04
(ロ) 有価証券利回り	1.39	0.08	1.47	1.60
(2) 資金調達原価 (C)	1.56	0.05	1.61	1.58
(イ) 預金等原価 (D)	1.54	0.05	1.59	1.53
(ロ) 預金等利回り	0.31	0.03	0.34	0.32
(ハ) 経費率	1.23	0.02	1.25	1.20
(3) 預貸金利鞘 (B)-(D)	0.45	0.02	0.43	0.51
(4) 総資金利鞘 (A)-(C)	0.23	0.02	0.21	0.31

(単位：%)

〔国内店ベース〕	21年3月期		20年9月期 (第2四半期累計期間)	20年3月期
	20年9月期比較	20年3月期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	1.70	0.01	1.71	1.67
(イ) 貸出金利回り (B)	1.99	0.02	2.01	2.03
(ロ) 有価証券利回り	1.27	0.03	1.30	1.19
(2) 資金調達原価 (C)	1.51	0.04	1.55	1.47
(イ) 預金等原価 (D)	1.51	0.04	1.55	1.46
(ロ) 預金等利回り	0.28	0.03	0.31	0.26
(ハ) 経費率	1.22	0.02	1.24	1.20
(3) 預貸金利鞘 (B)-(D)	0.48	0.02	0.46	0.57
(4) 総資金利鞘 (A)-(C)	0.19	0.03	0.16	0.20

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 3. 預り資産残高・保険販売実績【単体】

(単位：件、百万円)

	21年3月期		20年9月期 (第2四半期末)	20年3月期
	20年9月期比較	20年3月期比較		
投資信託期末残高 (A)	121,019	33,267	154,286	162,983
公共債保護預り期末残高 (B)	156,579	7,345	163,924	157,107
オプション・スワップ 付債券期末残高 (C)	19,212	1,480	17,731	11,721
個人年金 販売件数	66,584	1,333	65,251	61,891
保険 取扱保険料 (D)	196,056	7,006	189,049	176,270
その他の生命保険 取扱保険料 (E)	6,809	692	6,116	5,160
預り資産残高合計 (A+B+C +D+E)	499,676	31,432	531,109	513,243
うち個人預り資産残高	477,650	31,796	509,446	494,210

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 個人年金保険の販売件数・取扱保険料は、取扱開始(平成14年10月)以降の累計であります。

#### 4. 損益状況【 単 体 】

当行単体の当期の損益状況は次のとおりであります。

##### 貸出金利息・預金等利息は改善するも有価証券利息配当金の減少により資金利益は減少

預金等利息(譲渡性預金利息を含む)が前期比519百万円減少する一方で、貸出金利息は同1,102百万円増加し、預貸金業務は順調に推移いたしました。有価証券利息配当金が同4,227百万円減少したことから、資金利益は前期比1,420百万円減少して56,812百万円となりました。

##### 役務取引等利益は苦戦

当期も引き続きフィービジネスの強化に努力してまいりましたが、米国のサブプライムローン問題に端を発する株式市場等の世界的な下落の影響により、投資信託や個人年金保険の販売が不振であったことなどから、役務取引等利益は前期比1,095百万円減少して6,508百万円となりました。

##### その他業務利益は金融危機の影響により赤字

百年に一度と言われる米国発の金融危機の影響により、当期の債券関係損益(国債等債券売却益 - 売却損 + 償還益 - 償還損 - 償却)が 6,300百万円(前期比3,278百万円悪化)となったことを主因に、その他業務利益は前期比1,257百万円悪化し 6,699百万円となりました。

その結果、当期の業務粗利益は56,621百万円で、前期比3,772百万円の減少となりました。

##### 先行投資による経費増で実質業務純益は減少

経費は、IT投資関連の物件費の増加を主因として、前期比1,489百万円増加の46,009百万円となりました。

これにより、一般貸倒引当金繰入前の実質業務純益は10,612百万円となり、前期比5,262百万円の減益となりました。

##### 厳格な自己査定を実施した結果、不良債権処理額は微増なるも与信コスト合計では減少

当期の国内経済は、昨年9月のリーマンショック以後急速に冷え込み、企業業績は急激に悪化いたしました。

当行では「問題は先送りしない」という方針のもと、厳格な自己査定を実施した結果、11,439百万円の不良債権処理額を計上いたしました(前期比60百万円の増加)。

なお、与信コスト合計(一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額)は13,235百万円となり、前期比2,649百万円の減少となりました。

##### 金融危機の影響により株式関係損益は大幅に悪化

金融危機の影響は国内株式市場にも波及し、株価は大幅な下落となりました。当行でも保有する株式の減損処理等を実施し、償却・売却損を15,146百万円計上したことから、当期の株式等損益は 14,249百万円(前期比25,489百万円悪化)となりました。

##### 当行創業以来初の赤字を計上

当期は、前述のとおり、多額の株式の株式関係の損失を計上したことなどから、昭和8年の創業以来初の赤字計上を余儀なくされ、経常損失は18,886百万円(前期比29,006百万円の減益)、当期純損失も16,604百万円(同19,904百万円の減益)となりました。

【 単 体 】

(単位：百万円)

項番		21年3月期		20年3月期
			20年3月期比較	
1	業 務 粗 利 益	56,621	3,772	60,394
2	コア業務粗利益(除く債券関係損益)	62,921	494	63,416
3	資 金 利 益	56,812	1,420	58,232
4	うち資金運用収益	69,819	3,537	73,357
5	うち貸出金利息	52,206	1,102	51,103
6	うち有価証券利息配当金	16,415	4,227	20,643
7	うち資金調達費用	13,040	2,122	15,163
8	うち預金等利息	11,562	519	12,082
9	役 務 取 引 等 利 益	6,508	1,095	7,603
10	そ の 他 業 務 利 益	6,699	1,257	5,442
11	うち債券関係損益	6,300	3,278	3,021
12	うち国債等債券償却・償還損	7,767	607	7,159
13	うち国内業務粗利益	59,306	2,829	56,477
14	コア業務粗利益(除く債券関係損益)	60,322	161	60,484
15	資 金 利 益	54,100	1,060	53,040
16	役 務 取 引 等 利 益	6,313	1,082	7,396
17	そ の 他 業 務 利 益	1,108	2,851	3,959
18	うち債券関係損益	1,015	2,991	4,006
19	経 費 ( 除 く 臨 時 費 用 分 )	46,009	1,489	44,519
20	人 件 費	24,229	532	23,696
21	物 件 費	19,698	1,386	18,312
22	税 金	2,081	429	2,510
23	実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	10,612	5,262	15,874
24	実質コア業務純益(除く債券関係損益)	16,912	1,984	18,896
25	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,796	2,710	4,506
26	業 務 純 益	8,816	2,552	11,368
27	臨 時 損 益	27,702	26,454	1,248
28	不 良 債 権 処 理 額	11,439	60	11,378
29	貸 出 金 償 却	5,163	1,908	3,254
30	個別貸倒引当金繰入額	6,130	996	7,126
31	延滞債権等売却損等	1	7	8
32	投資損失引当金繰入額	0	0	
33	偶発損失引当金繰入額	143	845	988
34	株 式 等 関 係 損 益	14,249	25,489	11,239
35	うち株式等売却損・償却	15,146	14,433	712
36	そ の 他 臨 時 損 益	2,013	903	1,110
37	経 常 利 益 ( 経 常 損 失 )	18,886	29,006	10,119
38	特 別 損 益	221	539	761
39	うち固定資産処分損益	441	282	158
40	固定資産処分益			
41	固定資産処分損	441	282	158
42	うち減損損失	1,080	929	2,010
43	うち償却債権取立益	1,300	107	1,407
44	税引前当期純利益(税引前当期純損失)	19,108	28,466	9,358
45	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	83	12,282	12,365
46	法 人 税 等 調 整 額	2,586	3,720	6,307
47	当 期 純 利 益 ( 当 期 純 損 失 )	16,604	19,904	3,300
48	与信コスト(貸倒償却引当費用) [25+28]	13,235	2,649	15,884

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

債券関係損益 = 国債等債券売却益 - 同売却損 + 同償還益 - 同償還損 - 同償却

5. 損益状況【連結】

当行は連結子会社が11社あり、連結決算を実施しておりますが、連結・単体の差はそれほど大きくはありません。  
 当期の連結経常損失は単体比1,813百万円減少の17,073百万円(前期比27,954百万円の減益)、連結当期純損失も単体比385百万円減少の16,218百万円(前期比19,815百万円の減益)となりました。

【連結】

(単位：百万円)

項番		21年3月期		20年3月期
			20年3月期比較	
1	連結粗利益	61,142	2,426	63,568
2	資金利益	57,506	1,450	58,956
3	役務取引等利益	8,717	899	9,616
4	その他業務利益	5,081	76	5,005
5	営業経費(臨時費用処理分を除く)	47,907	1,604	46,302
6	連結実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	13,235	4,030	17,265
7	一般貸倒引当金繰入額	2,080	2,594	4,675
8	連結業務純益	11,154	1,436	12,590
9	その他経常損益(臨時損益)	28,227	26,518	1,709
10	不良債権処理額	11,903	211	11,691
11	貸出金償却	5,192	1,900	3,292
12	個別貸倒引当金繰入額	6,479	843	7,323
13	その他債権売却損等	230	845	1,076
14	株式等関係損益	14,275	25,430	11,155
15	売却益	904	11,048	11,952
16	売却損	1,601	1,588	13
17	償却	13,577	12,793	783
18	その他経常損益(営業経費中臨時処理分を含む)	2,015	880	1,135
19	金銭の信託運用見合費用	33	4	38
20	経常利益(経常損失)	17,073	27,954	10,881
21	特別損益	415	345	760
22	うち貸倒引当金等戻入益			
23	税金等調整前当期純利益(純損失)	17,488	27,609	10,120
24	法人税、住民税及び事業税	797	11,917	12,715
25	法人税等調整額	2,886	3,694	6,581
26	法人税等合計(24+25)	2,089	8,223	6,133
27	少数株主利益	819	429	389
28	当期純利益(純損失)	16,218	19,815	3,597

(参考)

貸倒引当償却費用(7+10-22)	13,983	2,382	16,366
-------------------	--------	-------	--------

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 連結粗利益 = 資金利益(資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用)) + 役務取引等利益(役務取引等収益 - 役務取引等費用) + その他業務利益(その他業務収益 - その他業務費用)  
 3. 連結業務純益 = 連結粗利益 - 営業経費(臨時費用処理分を除く) - 貸倒引当金繰入額(その他経常費用)中の一般貸倒引当金繰入額

6. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	21年3月期		20年3月期
		20年3月期比較	
(1) 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	10,612	5,262	15,874
職員一人当たり(千円)	4,517	2,223	6,740
(2) 実質コア業務純益 (一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益除く)	16,912	1,984	18,896
職員一人当たり(千円)	7,199	824	8,023
(3) 業務純益	8,816	2,552	11,368
職員一人当たり(千円)	3,753	1,074	4,827

(注) 1. 金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 職員数は、期中平均人員を使用しております。

7. 国債等債券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	21年3月期		20年3月期
		20年3月期比較	
国債等債券関係損益(5勘定戻)	6,300	3,278	3,021
売却益	1,424	3,766	5,191
償還益	466	466	
売却損	424	629	1,053
償還損	2,309	1,422	886
償却	5,458	814	6,272

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

8. 株式関係損益【単体】

(単位：百万円)

	21年3月期		20年3月期
		20年3月期比較	
株式関係損益(3勘定戻)	14,249	25,489	11,239
売却益	896	11,056	11,952
売却損	1,593	1,580	13
償却	13,552	12,853	699

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

9. 有価証券・金銭の信託の評価損益

(単位：百万円)

【 単体ベース 】	21年3月末			20年3月末		
	評価損益	評価損益		評価損益	評価損益	
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的						
子会社株式						
その他有価証券	12,809	32,490	19,680	46,002	71,232	25,230
<b>有価証券</b>	<b>12,809</b>	<b>32,490</b>	<b>19,680</b>	<b>46,002</b>	<b>71,232</b>	<b>25,230</b>
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	8		8	7		7
〔その他有価証券評価差額金〕	〔 8,779 〕			〔 28,924 〕		
<b>合計</b>	<b>12,801</b>	<b>32,490</b>	<b>19,688</b>	<b>45,994</b>	<b>71,232</b>	<b>25,238</b>
<b>有価証券</b>	<b>12,809</b>	<b>32,490</b>	<b>19,680</b>	<b>46,002</b>	<b>71,232</b>	<b>25,230</b>
株式	24,984	27,054	2,070	60,548	66,975	6,426
債券	2,181	4,543	2,362	3,350	3,698	7,049
その他	14,356	891	15,247	11,195	558	11,754
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	8		8	7		7

【 連結ベース 】	21年3月末			20年3月末		
	評価損益	評価損益		評価損益	評価損益	
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的						
子会社株式						
その他有価証券	12,829	32,509	19,680	46,109	71,347	25,238
<b>有価証券</b>	<b>12,829</b>	<b>32,509</b>	<b>19,680</b>	<b>46,109</b>	<b>71,347</b>	<b>25,238</b>
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	8		8	7		7
〔その他有価証券評価差額金〕	〔 8,782 〕			〔 28,940 〕		
<b>合計</b>	<b>12,820</b>	<b>32,509</b>	<b>19,689</b>	<b>46,101</b>	<b>71,347</b>	<b>25,246</b>
<b>有価証券</b>	<b>12,829</b>	<b>32,509</b>	<b>19,680</b>	<b>46,109</b>	<b>71,347</b>	<b>25,238</b>
株式	25,004	27,074	2,070	60,655	67,089	6,434
債券	2,181	4,543	2,362	3,350	3,698	7,049
その他	14,356	891	15,248	11,195	559	11,754
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	8		8	7		7

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 「その他有価証券」並びに「金銭の信託(運用目的及び満期保有目的以外)」については期末日の時価に基づいて評価しておりますので、上記の表は貸借対照表又は連結貸借対照表計上額と取得価額との差額を記載しております。  
 3. 「その他有価証券」には「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

10. ROE【 単体 】

(単位：%)

	21年3月期		20年9月期 (第2四半期累計期間)	20年3月期
	20年9月期比較	20年3月期比較		
業務純益ベース	4.12	1.31	2.81	4.60
当期(中間)純利益 (純損失)ベース	7.76	8.04	0.28	1.33

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

11. 自己資本比率（国際統一基準）

当行は、信用リスクの計測手法として『FIRB(基礎的内部格付手法)』を、また、オペレーショナルリスクの計測手法として『粗利益配分手法』を採用しております。

なお、当行単体の当期末の自己資本比率は10.26%で前期末比0.88%低下(Tier 1比率は8.64%で前期末比1.20%低下)、連結ベースの当期末の自己資本比率は10.34%で前期末比0.82%低下(Tier 1比率は8.73%で前期末比1.18%低下)となりました。

【単体】

(金額単位：億円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末	
		20年9月末比較			20年3月末比較
(1) 自己資本比率 (%)	10.26	0.41	0.88	9.85	11.14
うちTier 1比率 (%)	8.64	0.85	1.20	9.49	9.84
(2) Tier 1	1,876	94	137	1,970	2,014
(3) Tier 2	434	204	48	230	385
(イ) 自己資本に計上された 有価証券含み益	57	7	149	50	206
(ロ) 自己資本に計上された 土地再評価差額金	96	2	1	99	98
(ハ) 劣後ローン残高	280	200	200	80	80
(4) 控除項目	81	74	39	156	121
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	2,229	185	50	2,044	2,279
(6) リスク・アセット	21,708	963	1,256	20,744	20,451

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【連結】

(金額単位：億円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末	
		20年9月末比較			20年3月末比較
(1) 自己資本比率 (%)	10.34	0.41	0.82	9.93	11.16
うちTier 1比率 (%)	8.73	0.86	1.18	9.59	9.91
(2) Tier 1	1,916	94	135	2,010	2,051
(3) Tier 2	439	204	50	234	388
(イ) 自己資本に計上された 有価証券含み益	57	6	149	50	207
(ロ) 自己資本に計上された 土地再評価差額金	96	2	1	99	98
(ハ) 劣後ローン残高	280	200	200	80	80
(ニ) 一般貸倒引当金	4	0	1	3	2
(4) 控除項目	87	76	41	163	129
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)	2,267	186	43	2,080	2,311
(6) リスク・アセット	21,929	975	1,234	20,953	20,695

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 貸出金等の状況

### 1. 貸倒引当金とリスク管理債権の状況

当行単体のリスク管理債権の合計は605億円となり前期末(20年3月末)比213億円の減少、総貸出金残高に占める比率も2.22%と同0.98%の低下となりました。

なお、当行の子会社では一般事業貸出を行っていないことから、連結ベースでのリスク管理債権残高は単体比231百万円の増加にとどまっております。

#### 【 単 体 】

(単位：百万円)

	21年3月末			20年9月末	20年3月末
		20年9月末比較	20年3月末比較	(第2四半期末)	
貸倒引当金	25,003	1,878	690	26,882	25,694
一般貸倒引当金	14,002	1,668	1,796	15,671	12,206
個別貸倒引当金	11,001	209	2,486	11,210	13,488
特定海外債権引当勘定					

リスク管理債権	破綻先債権額	6,123	3,467	4,513	2,656	1,610
	延滞債権額	39,903	3,423	64	43,327	39,968
	3カ月以上延滞債権額	2,348	444	479	2,793	1,868
	貸出条件緩和債権額	12,137	29,364	26,319	41,501	38,457
	合計	60,512	29,764	21,392	90,277	81,905
(部分直接償却額)		( 26,014 )	( 6,578 )	( 5,456 )	( 19,435 )	( 20,557 )
貸出金残高(未残)		2,718,311	132,778	159,327	2,585,533	2,558,984

(単位：%)

対総貸出金残高比率	破綻先債権額	0.22	0.12	0.16	0.10	0.06
	延滞債権額	1.46	0.21	0.10	1.67	1.56
	3カ月以上延滞債権額	0.08	0.02	0.01	0.10	0.07
	貸出条件緩和債権額	0.44	1.16	1.06	1.60	1.50
	合計	2.22	1.27	0.98	3.49	3.20

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【 連結 】

(単位：百万円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末	
		20年9月末比較			20年3月末比較
貸倒引当金	26,566	1,860	33	28,426	26,599
一般貸倒引当金	14,674	1,503	2,080	16,177	12,593
個別貸倒引当金	11,891	357	2,113	12,249	14,005
特定海外債権引当勘定					
リスク管理債権					
破綻先債権額	6,148	3,461	4,516	2,687	1,631
延滞債権額	40,005	3,415	44	43,420	40,050
3カ月以上延滞債権額	2,355	445	479	2,801	1,876
貸出条件緩和債権額	12,234	29,350	26,295	41,585	38,529
合計	60,744	29,750	21,343	90,494	82,087
(部分直接償却額)	(26,014)	(6,578)	(5,456)	(19,435)	(20,557)
貸出金残高(未残)	2,710,948	132,949	159,580	2,577,999	2,551,368

(単位：%)

対総貸出金残高比率					
破綻先債権額	0.22	0.12	0.16	0.10	0.06
延滞債権額	1.47	0.21	0.09	1.68	1.56
3カ月以上延滞債権額	0.08	0.02	0.01	0.10	0.07
貸出条件緩和債権額	0.45	1.16	1.06	1.61	1.51
合計	2.24	1.27	0.97	3.51	3.21

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 金融再生法開示債権の状況【 単体 】

当行単体の金融再生法に基づく開示債権の合計は610億円で前期末(20年3月末)比216億円の減少、総与信残高に占める比率も2.20%と同0.97%の低下となりました。なお、貸倒引当金や担保等による保全率は75.25%で同13.40%の上昇となりました。

【 単体 】

(金額単位：百万円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末	
		20年9月末比較			20年3月末比較
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	12,053	2,918	4,477	9,135	7,576
危険債権	34,490	2,499	299	36,990	34,790
要管理債権	14,485	29,809	25,840	44,294	40,325
小計(A)	61,030	29,390	21,662	90,420	82,692
対総与信残高比率(A)÷(B)(%)	2.20	1.23	0.97	3.43	3.17
正常債権	2,704,114	160,417	179,105	2,543,696	2,525,008
合計(B)	2,765,144	131,027	157,442	2,634,117	2,607,701
保全額(C)	45,928	9,378	5,223	55,307	51,151
貸倒引当金	12,530	4,315	4,783	16,846	17,314
担保保証等	33,398	5,062	439	38,460	33,837
保全率(C)÷(A)(%)	75.25	14.09	13.40	61.16	61.85

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 業種別貸出状況等

(1) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末	
	20年9月末比較	20年3月末比較			
消費者ローン	762,782	2,427	15,921	760,354	746,860
住宅ローン	731,208	3,751	19,251	727,456	711,957
その他ローン	31,573	1,323	3,329	32,897	34,903

(注) 1. 百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 住宅ローンには、地方公共団体制度融資(住宅資金)・協定住宅融資等の住宅関連融資を含めて記載しております。

(2) 中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末	
	20年9月末比較	20年3月末比較			
中小企業等貸出比率	72.01	3.11	3.74	75.12	75.75

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(3) 業種別貸出金残高【単体】

(単位：百万円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末	
	20年9月末比較	20年3月末比較			
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	2,714,118	132,430	157,973	2,581,688	2,556,145
製造業	509,043	63,673	71,129	445,369	437,914
農業	2,747	296	294	3,044	3,042
林業	209	38	12	171	196
漁業	716	83	90	632	807
鉱業	8,081	2,323	1,438	5,757	6,642
建設業	126,576	3,126	7,393	129,702	133,970
電気・ガス・熱供給・水道業	11,694	1,884	3,524	9,809	8,170
情報通信業	17,475	1,176	2,556	18,651	14,918
運輸業	86,391	6,767	9,551	79,623	76,839
卸売・小売業	363,048	7,272	14,811	355,776	348,236
金融・保険業	77,397	585	346	76,811	77,050
不動産業	320,638	5,824	14,006	314,814	306,631
各種サービス業	307,735	241	7,504	307,977	315,240
地方公共団体	174,004	44,527	39,212	129,476	134,791
その他	708,358	4,290	16,665	704,068	691,693

(注) 百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) 業種別リスク管理債権残高【単体】

(単位：百万円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末
		20年9月末比較		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	60,465	29,744	21,360	90,210
製造業	9,177	5,428	5,095	14,606
農業	83	166	10	250
林業	20	0	20	20
漁業		11	4	11
鉱業		29	31	29
建設業	8,704	6,853	7,980	15,558
電気・ガス・熱供給・水道業				
情報通信業	509	217	284	727
運輸業	492	1,493	1,236	1,986
卸売・小売業	11,993	10,670	5,087	22,663
金融・保険業	3,163	665	749	3,828
不動産業	12,566	1,306	184	13,873
各種サービス業	9,381	3,099	1,599	12,480
地方公共団体				
その他	4,373	199	492	4,173

(注) 百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 国別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

(金額単位：百万円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末
		20年9月末比較		
債権額 対象国数(カ国)				

(2) アジア向け貸出金【単体】

(単位：百万円)

	21年3月末		20年9月末 (第2四半期末)	20年3月末
		20年9月末比較		
インド (うちリスク管理債権)				
インドネシア (うちリスク管理債権)	323	36	52	360
タイ (うちリスク管理債権)	47	20	31	67
タイ (うちリスク管理債権)	200	200	200	
中国 (うちリスク管理債権)	681	56	301	624
香港 (うちリスク管理債権)	1,996	132	9	1,863
マレーシア (うちリスク管理債権)		40	40	
合計 (うちリスク管理債権)	3,201	352	562	2,849
	47	60	31	107

(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】

該当ありません。

(4) ロシア向け貸出金【単体】

該当ありません。

自己査定結果と開示基準別の分類・保全状況【単体】

〔平成21年3月末現在〕

(金額単位：億円)

自己査定結果（債務者区分別） 対象：貸出金等与信関連債権					金融再生法の開示基準 対象：要管理債権は貸出金のみ その他は貸出金等与信関連債権				リスク管理債権 対象：貸出金	
区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保 保証 による 保全額	引当額	保全率	区分	貸出金 残高
	非 分類	分類	分類	分類						
破綻先 61	24	37	(18)		破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 120	91	29	100.00%	破綻先債権	61
実質破綻先 58	24	34	(9)	(1)					危険債権 344	203
破綻懸念先 344	211	72	60 (80)		要管理債権 (貸出金のみ) 144	38	15	37.59%		
要 注 意 先	要管理先 219	23	196						小計 610	333
					その他の 要注意先 2,894	745	2,149			
正常先 24,071	24,071				合計					
合計 27,651	25,100	2,490	60 (108)	(1)	合計 27,651					

(注) 1. 金額は単位未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 2. 貸出金等与信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・未収利息  
 3. 自己査定結果における 分類の( )内は分類額に対する引当額であります。

平成22年3月期の業績予想

〔主要勘定(通期の期中平均残高)〕

(単位:億円、%)

	単 体		連 結	
	予想平均残高	前年同期比較	予想平均残高	前年同期比較
預金等(譲渡性預金含む)	38,010	(2.09) 779	37,955	(2.09) 778
貸 出 金	27,150	(3.90) 1,019	27,075	(3.91) 1,019
有 価 証 券	11,410	( 2.83) 333	11,410	( 2.83) 332

(注) 前年同期比較欄の上段の( )内は、前年同期比増減率(単位:%)であります。

〔損益〕

【単体】

(単位:百万円)

	中間期(平成21年9月期)			通期(平成22年3月期)		
	21年9月期 予想	20年9月期 実績	20年9月期 比較	22年3月期 予想	21年3月期 実績	21年3月期 比較
経常収益	40,000	45,031	5,031	80,000	85,026	5,026
経常利益	4,000	611	3,389	8,500	18,886	27,386
当期(中間)純利益	2,000	316	1,684	5,000	16,604	21,604
業務純益	8,900	3,142	5,758	18,800	8,816	9,984

【連結】

(単位:百万円)

	中間期(平成21年9月期)			通期(平成22年3月期)		
	21年9月期 予想	20年9月期 実績	20年9月期 比較	22年3月期 予想	21年3月期 実績	21年3月期 比較
経常収益	45,000	49,671	4,671	90,000	94,802	4,802
経常利益	5,000	1,500	3,500	10,000	17,073	27,073
当期(中間)純利益	2,200	532	1,668	5,500	16,218	21,718